

Doc.No : NR030613-1

2003年6月13日

大サイズプレートに対応したサーマルCTP「PlateRite Ultima」を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野富次)は、出版業界やパッケージ業界で多数導入されている大型の印刷機に対応したサーマルCTP (=Computer to Plate)出力装置「PlateRite Ultima(プレートライト・アルティマ)」を2003年6月から販売します。

この装置は、A4サイズを縦4列横8列の32ページ配置できる大型CTPで、2,382×1,276mmの大サイズプレートに印刷物のページデータを直接露光できるのが特長。露光ビームの多チャンネル化が図れる次世代の光源技術、*GLV(Grating Light Valve)イメージングを採用した512チャンネル露光ビーム搭載により、80インチプレート(2,032×1,276mm)を1時間あたり最高15版処理します。

また、四六全判サイズ幅(最大1,160×1,276mm)までのプレートであれば、ドラムに2枚のプレートを巻きつけ、シングルヘッドによる連続露光が可能。4カセット構成のマルチカセットオートローダー仕様では、四六全判サイズ幅までのプレートを最大600枚(1,160mm幅以上の場合には最大300枚)収納できるなど、自動化を実現しています。

当社は、プレートライトシリーズとして、この大サイズ対応「PlateRite Ultima」をはじめ、四六全判対応「PlateRite 8800/8600/8000II/8100」、四六半裁判対応「PlateRite 4300/4100」、B3サイズ対応「PlateRite 3051vi」をラインアップ。32ページから2ページ仕様までの各種版サイズに対応するとともに、サーマル光源やバイオレット光源用感材を採用した幅広い製品を揃え、CTPの機種選択を最適なCTPワークフローソリューションとともに提供します。

* GLV(Grating Light Valve)

MEMS(微小電子機械システム)と呼ばれるセンサーや通信、バイオ分野で使用されている半導体技術と光の干渉性を利用した工学原理に基づく技術。半導体素子の基板上に光を反射するリボンを並行に配列した構造で、露光ビームの多チャンネル化が図れる。

※Grating Light ValveおよびGLVは、Silicon Light Machines(本社：米国)の商標です。

<国内希望販売価格(消費税別)>

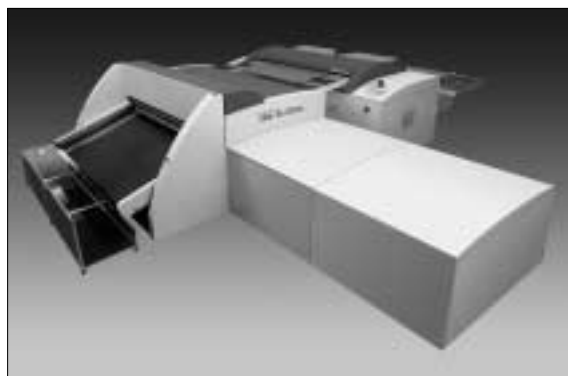
9,000万円(セットアップテーブル仕様)

<販売開始時期>

2003年6月

<年間販売予定台数>

30台



PlateRite Ultima

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目